

羅 針 盤			方 策		点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目	自己評価	外部アンケート等	総合				
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①「自分の学校が好きだ」と感じている生徒が90%以上である。 ②生徒にとって魅力的で特色ある学校行事を年に5回以上実施している。	A	A	A	A	A	今年度も各行事を予定通り実施することができた。生徒の人間関係づくりに主眼を置き、球技大会を学年交流運動会、体育祭をTBG(Tateko Ball Game)に改めた。内容を大幅に変更し、準備段階から学年を超えた生徒の交流を図り、深い学びとなるように工夫した。学校が好きだと答えた生徒の割合は、調査第1回、第2回ともに92%と高評価であった。今後も学校生活の楽しさを実感させ、学習意欲の向上と人間関係の育成を目指し、生徒の人間性を高める仕掛けを工夫していく。	○不登校等からの立ち直りの対応は素晴らしい。 ○感染症も落ち着き、教育活動が通常通り、予定通り実施できるようになって良かった。 ○中学校の不登校生徒にとって定時制の存在意義は大きい。苦労はあると思うが、生徒の居場所づくりとなるように頑張ってもらいたい。
	2 生徒の教育再生の場として、学習の取り組み方や社会性を育んでいますか。	③不登校等から立ち直り、継続して登校できるようになった生徒が90%以上である。	A	A	A	A	A	継続して登校できていると答えた生徒が第1回100%、第2回96%。多くの生徒が学校に居場所を見つけている。中学時に比べて登校はしているが、欠席が多い生徒も少なくない。生徒に寄り添いながら、粘り強さ・たくましさを育成していく。	
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④生徒の実態を踏まえた学習指導に、生徒の80%以上が満足している。 ⑤「授業が分かりやすい」と、生徒の80%以上が評価している。	A	A	A	A	A	個別指導を優先し、常に目の前の生徒に合わせた教材を作成して対応している。第1回92%、第2回96%の生徒が満足と答えている。基礎学力の定着や段階的な学習目標の達成で意欲の向上を図り、生徒同士が学び合い切磋琢磨できるような学習環境をつくる。 学び直しを重視し、基礎学力の充実を力を入れている。第1回92%、第2回96%の生徒が「授業が分かりやすい」と答えている。現在の取組を継続するとともに、社会で必要とされる知識・能力の育成のために授業研究、授業改善に取り組む。	○生徒の実態を踏まえた、わかりやすい授業を今後も期待したい。
	4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥集中して授業に取り組んでいる生徒が80%以上である。 ⑦学習に対する達成感や満足感を持っている生徒が80%以上である。	A	A	A	A	A	主体的、対話的な学習活動を実践し、生徒が学ぶ楽しさを実感できる授業を展開する。 3分野の基礎学力テストに対して目標を持たせ、その達成に向けた学習意欲を喚起する。	
	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧全生徒に関する情報交換を月2回実施している。 ⑨登校時指導(挨拶指導、健康観察)を毎日実施している。 ⑩他の通行者への配慮も含めて安全な登下校を心がけている生徒が100%である。 ⑪「生徒会活動や部活動が充実している」と評価している生徒が80%以上である。	A	-	A	A	A	全職員参加の生徒情報交換会で生徒情報を共有し、生徒への対応、指導方法について全職員で共通認識を持つ。また情報交換会以外でも日頃から情報共有をはかる。 毎日の登校時指導で生徒を出迎え、職員から挨拶や声かけを積極的に行い、生徒の健康観察や状態把握につとめる。 下校時刻が遅いため、安全に帰宅するよう年間を通して生徒へ注意喚起する。 原付、自動車通学者はルールを確認した上で許可証を発行し、法令遵守、安全運転での登下校を指導する。 生徒全員が生徒会行事や部活動に積極的に参加できる環境を整え、主体性の育成とともに、良好な人間関係を構築できるよう指導する。	○生徒の情報交換や登校時指導は効果的である。 ○先生方のきめ細やかな関わりが生徒に伝わっていると思う。家庭の理解・共通認識・連携がとて難しい課題です。 ○Ⅲ-7-⑬について、評価Cとなっているが、不登校から立ち直り、学校と繋がりを持てるようになった生徒が大半なので、「A」「B」の評価をつけても良いのではないかと指導を続けてほしい。
	6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑫学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に行っていると認識している生徒が90%以上である。	B	A	B	B	B	「安全な登下校を心がけている」生徒は第1回92%、第2回100%。今年度登下校中の交通事故は0件。自動車・原付通学者は安全運転を心がけて通学に利用している。自転車通学者のヘルメット着用率を上げていくことを今後の課題とする。 第1回76%、第2回88%であった。高い評価を得ているが、より活力あるものにするためには生徒の主体的な活動が必要となる。主体性を持たせるためにも、職員が良い方向付けをしていきたい。形態や内容を見直ししながら、生徒全員が楽しく参加し、一体感も感じられる意義ある活動になるよう発展させていく。	○ヘルメットの着用率を上げるのは大変な苦労があると思う。死亡事故防止のためにも指導を続けてほしい。
7 生徒は、健康で規則正しい学校生活を送っていますか。	⑬出席状況が良好である割合が80%以上である。 ⑭「学校生活が充実している」と感じている生徒が80%以上である。	C	C	C	C	C	家庭との連絡を密に取るとともに、個に応じた教育相談を実践し、学校中心の生活を指導していく。 生徒にとって学校が安心、安全な場所になるよう環境整備につとめる。 学校生活や部活動の主体的な活動の中で、生徒間の活発な交流を図る。		
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	⑮「自分の将来に役立つ進路指導を行っている」と感じている生徒が80%以上である。 ⑯キャリア教育に関わる情報を学期に2回以上発信している。	B	A	B	B	B	キャリア教育セミナーの充実を図るとともに、生徒の多様な進路やニーズに対応できるよう情報の収集と提供を行う。 『進路通信』を適宜発行する。 担任との面談を通して、自分の将来について考える機会を増やす。	○担任面談、個別指導を今後も期待したい。
	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑰自分の適性を理解して、進路実現に向けて取り組んでいる生徒が70%以上である。 ⑱アルバイトを含め就業している生徒が70%以上である。	B	A	B	B	B	年2回進路希望調査を実施し、担任を中心とした面談の中で自らの職業適性を見いだす。 オープンキャンパス等に積極的に参加させることで、希望に合った進路選択につなげる。 学校始業時間までの有効活用と生活習慣の確立、さらに社会経験を積ませるといった観点から就業を積極的に勧める。また、就業先での悩みなどを気軽に教員に相談できる体制を整える。	
	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲家庭への通知で適切な情報が提供され、学校の様子がよくわかると保護者の70%が回答している。 ⑳学校新聞を学期に1回以上発行し、かつWEBページを月に1回以上更新している。	B	A	B	B	B	学期に1回以上の学校新聞の発行、学校公開、各行事等の案内配布を行い、生徒を通して保護者へ確実に通知が届くようにする。 学校行事等では個人情報に注意をはらいながら、写真や映像を記録として残り、WEBページの更新や学校新聞の素材として活用する。	○学校新聞等の発行は時間がかかると思うが、価値がある。
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	11 ICTを活用した指導を行っていますか。	㉑ICTを活用した授業に、生徒の90%以上が満足している。	B	A	B	B	B	ほとんどの生徒がICT活用の授業に満足と答えている。職員の教材研究の成果が出ている。Chromebookを活用することで生徒の意欲・理解が向上している。引き続き教材を充実させ、生徒に学習への興味・関心を持たせる。	○今後も業務改善を進めることを期待したい。 ○ICTの活用については、生徒の中に対応できなかったり、苦手な人が一定数いると思う。生徒それぞれの状態にあった配慮や指導を大切にしてほしい。
	12 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	㉒資料はデジタルデータで共有化し、職員会議や打合せの紙面資料の配付は週1回以内に行っている。	A	-	A	A	A	「kinako」活用によりペーパーレスは実現できた。生徒への緊急連絡も「google classroom」で対応している。今後もシステムを有効活用し、経費削減・職員の負担軽減を推進していく。	